



かえでゆうびん 12月号

2022年12月1日
社会福祉法人 清松学園
幼保連携型認定こども園
かえで保育園
園長 引地 美津代

2022年もあと1か月となりました。1年を振り返りますと新年早々、2階の水漏れに始まり、感染症と闘いながら子どもたちの居場所の確保と空間づくりに日々追われた年明けでした。

2月からも様々な行事の縮小、延期せざるを得ない状況でしたが人間の強さと様々な順応性が「コロナ」という得体のしれないウイルスにも少しずつ対応できるように変化してきました。この1年で随分緩和されていくとともに皆の心も少し穏やかになってきたように思います。

今月中旬より、保護者の方々の館内入室を再開し、室内環境やお子様の保育園での様子も見ていただきながらの通常の生活が戻ってきました。まだまだ油断はできず、そこまで第8波が迫ってきていますが、できる限り園生活が穏やかに過ごせ、感染症にもきつと打ち勝つ日がくることを願って生活していきたいと思えます。

今年も「うんどう発表会」では体を動かし、身体表現や体を思いっきり使って動かすことを目標として皆様に見ていただきました。子どもたちにとって久しぶりに保護者の方々に見守られ、うれしい一日になりました。

12月に予定しています「かえでフェスティバル」は以前は「せいちょうはっぴょう会」として歌・合奏・劇などで日頃の子どもの楽しさを披露していましたが、3年前にコロナ禍での行事の在り方を見直した際、何とか中止をするのではなく、子どもたちの成長ぶりを知らせることはできないか検討しました。そして「楽しいかえでの日」(作品展)と合体し、3部に分けて園全体を使って行いました。その時に「かえでフェスティバル」として生まれ変わり今に至っています。この日のために作品や歌・合奏をするのではなく、この1年生活の中で興味が出たこと・今も継続していること・これからきっと好きになっていこうと思うことを見つけ、17日に向けて仕上げてきています。かえでフェスティバルも子どもたち・保護者そして私たち職員も素敵な一日になりますように・・・
<かえでカフェ>

11/25は「えのきの佃煮」と新米のご飯をテラスで作って試食していただきました。キノコ類は子どもにとっては少し苦手な食材ですが、免疫力を高める効果がありますので秋には食べてほしい食材です。レシピを置きますのでどうぞ参考にしてください。次回は暖かくなってから！
<ダンディ・タイム>

11/26は園庭整備で、れんぎょうのトンネルの補強と切り株の点検をしていただきました。よいこネットでの連絡をしなかったのでお父様までお知らせが届かず、少ない人数でしたが、ゆっくり会話を楽しみながら作業していただきました。次回は2月に予定しています。

お知らせ

- ・12月5日より関西学院の学生3名が実習に入ります。
- ・園が休園の際の緊急連絡先は080-9500-1997(園長携帯)にお願いします。

おねがい

- ・冬支度について
これから園庭では体を動かして遊びます。
たくさん重ね着をせず動きやすい服装にしてください。
(綿の半袖シャツ・トレーナー・上着で調節)
- ・光る靴について
歩くと光る靴は園外に出かけた際、足元が気になり注意力散漫になり大変危険です。普通の靴で登園してください。
- ・様々な予防接種を打たれた場合は、必ず園に知らせてください。
(健康観察のため)

12月の予定

- ・12日(月) 西宮市による砂場砂消毒
 - ・17日(土) かえでフェスティバル
 - ・19日(月) 月例健診
 - ・22日(木) だいち甲山登山*だいち体操休み
 - ・23日(金) おたのしみ会
 - ・1・8・22日(木) 体操
 - ・5・9(月・金) 絵画
 - ・12月29日~1月3日 休園
12月27・28日1月4・5日
(1号及び家庭保育可能なご家庭は冬期休暇となります)
- 緊急連絡は 080-9500-1997(園長携帯まで)

1月の予定

- ・4日(水) 保育希望者の方はお弁当日となります
- ・13日(金) 西宮市監査
- ・めばえ・ふたば 訪問ウィークは12月⇒1月に変更します。
詳細は後日お知らせします。
- ・18日(水) 全園児お弁当日
ひかり・だいち ゆきあそび ※後日お手紙を配布します
- ・21日(土) 西宮市研修(13時までの保育となります)
- ・27日(金) だいちクラス懇談(夕方に行います)

11月幼児クラスのバス遠足や乳児クラスはバギーに乗ったり、お友だちと手をつなぎ公園へのお散歩に出かけたり、お昼ご飯・おやつには新米や蜜入りのりんごや柿を食べたりと秋を満喫しました。

先日、頂いた新米の玄米をだいち組と一緒にマックスバリュの敷地内にある精米所まで精米しに出かけました。私も減多と利用することのない場所ですが、何人かの子どもたちは「ここお家の人と来たことある」と話してくれました。玄米を白米にするか、胚芽つきにするか話し合い、両方を選択してみました。白米でないお米をみた子どもたちは「うちのお米はこんなのかなあ」「私の家のお米は白い方かなあ」と精米されたお米を見ながら食べる日を楽しみにしていました。翌日、中が見える耐熱ガラスの鍋で子どもたちの目の前でお米を炊き始めると、「お米が水の中で泳いでみたい」「だんだん水が蒸発してる」と炊きあがるまでの時間をゆったりと眺めながら「お鍋がきれいからご飯もおいしそうだね」と話す子どもたち、食べて匂って見て育つ感性を育てるには、素材だけでなく器も大切にしていきたいと感じました。

11月中旬から送迎時、園内に入っただけのようにになり、親子の関わり方を拝見できたり、短時間ですが保護者の方とお話をするのができ少しずつ通常が戻ってくることを嬉しく思います。また感染症の兆しもありますが園全体で、感染症対策を行ないながら一年の締めくくりを元気に過ごしていければと思っています。

主幹保育教諭 藤森 寿美

室内よりも日中の園庭は日差しが暖かく、心地よい11月でした。12月になり、やっと冬を感じられるようになってきましたね。かえで保育園では寒い季節になると例年見られる微笑ましい姿があります。お昼寝から起きてくると、まだ眠たい目をこすりながら、自然と階段の踊り場へ足が向かいます。大きな窓の前にゆっくりと腰を下ろし、みんなでぎゅっと身を寄せ合い日向ぼっこ。しばらく身体を温めた後、それぞれのタイミングでおやつへと向かう子どもたちがなんとも愛おしくて、ついつい見つめてしまいます。かえで保育園の心地の良い場所は、子どもたちの方がよく知っているのかもしれませんが。季節を『肌』や『匂い』で感じることで、大きくなって感覚として蘇る瞬間があるからこそ、子どもの頃の“感じる”経験の大切さを改めて感じます。漂ってくるご飯の匂いに気付き「ねえ、今日はカレーだよ、ぜったい！」とわくわくしている姿も、「〇〇ちゃんの手つないでたから、ほらあったかくなった」と開いた手のぬくもりも、子どもたちが感じることで心が揺れ動いている瞬間を、保護者の方にもそっと届けていきたいです。

主幹保育教諭 河本彩奈

今月の子どもたちのようす

11月のかえでの様子をご紹介します。



積み木で遊ぶことが多くなった子どもたち。落ちないように一生懸命積み上げて遊んでいます。自分の背の高さまで積み上げることができると、みんなで拍手をしたり、倒れてしまうともう一度積み上げて遊んでいます。



チューリップの球根を植えました。一人ずつ球根を渡すと空いている穴に置き、優しく土を被せていました。最後に、じょうろで水やりをしたり、片付けまでお手伝いをしてくれます。これから子どもたちと一緒に世話をしたり、成長を喜んで春を待ちたいと思います。



落ち葉の上を歩いて、しゃくしゃくと音を楽しむ子どもたちです。両手いっぱい集めて投げ、ひらひらと落ち葉が舞う様子を友だち同士で楽しんでいましたよ。



お散歩バッグは、子どもたちが手を通し、自分で持つ事が出来るようにゴムを付けました。手に持つことが出来る為、拾った物をすぐにバッグに入れ、お友だち同士で見せ合っていました。



散歩先で見つけたたくさんの落ち葉を拾って葉っぱのシャワーをして遊んだり、葉っぱを踏んで音を楽しんだり。秋をたくさん感じられました。



ラディッシュの栽培をしています。毎日「おおきなあれ」と気持ちを込めながら水をあげています。最近では小さな芽が出てきて、ラディッシュがどんどん大きくなることを楽しみにしています。



いぶき組の「たまごはこび」を真似したり、だいち組のリレーを真似て走ったり、「うんとこしょ、どっこいしょ」の掛け声に合わせて綱引きをしたり…子どもたちの運動はっぴょう会はまだまだ続いています。

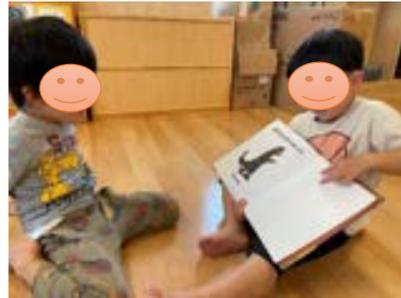


最近つぼみ組では積み木遊びが大人気。そーっと慎重に乗せて、どれだけ高く積めるか挑戦しています。時には子供たちの身長よりも高く積むこともあります。積み上げる、という経験から紙コップタワーの遊びも深まっています。積み木と違って軽くて壊れやすいので、より集中して遊んでいます。





どろきょうりゅうの絵本を通して、春に楽しんでいた泥団子作りブームが再来しました。「どろだんごからきょうりゅうまてくるかな」と自分の思いを込めながら作る子どもや、上手く作れずに葛藤しながらも友達に作り方を教えてもらい何度も挑戦しています。



作者・宮西達也さんの「おまふうまそうだな」で有名な絵本のシリーズを継続して読んでいます。長いお話ではありますが、数ページずつ毎日読んでおり、「きょうはこのページからだよ」と教えてくれる子どもたちです。最近では保育者の真似をして友達同士で絵本の読み聞かせをしています。



武田尾廃線跡に行きました。道には木でできた線路があり、その上を「しゅっぽ、しゅっぽ」と進みながら楽しい冒険が始まりました。ライトの準備をしてトンネルの中に入ると…中は暗くてひんやり冷たい空気でした。まっくらの世界にドキドキしながらも、友だちと一緒に勇気を出して進み、トンネルを抜けるときれいな川や橋があったりと「次は何があるんだろう」とワクワクが止まりませんでした。



少しずつ秋が深まり紅葉が綺麗に色づき始めていました。綺麗な葉を見つけたりどんぐりや石もを見つけました。今までで一番遠かっただいち組の冒険。だいち組で何かを成し遂げる楽しさがどんどん膨れて、次の冒険が待ち遠しい子ども達です。子どもたちは世界中を旅する計画を考えています。



毎年大切に作っている杉玉。今年もだいち組はお手伝いしました。玄関に当たり前のようにある杉玉ですが、手伝ってみると大変だということを知りました。毎年完成した後、名前を決めて板に書いていましたが、今年はSDGsの考えを大切にして去年のまま「すぎまろり」という名前になりました。



登園後「おはよう」の挨拶の後は、築山まで走り「今日は何する？」「鬼ごっこしようよ」「なににおにごにする？」と話す姿をよく見かけるようになりました。「いろはにほへと…」でみんな足を出し鬼を決め、ルール確認をしています。始めは少人数で始まった鬼ごっこもいぶき組、だいち組も入り、いつのまにか大人数に。「誰が捕まった？」「あれ、鬼ひとりだけ！？」「一回集合！」と再び築山に集合です。～1日のはじまり～

お互いに思いを伝え合う中で、気持ちやすれ違い言い合いになることもあります。自分の気持ちも言いたいけれど…どうしたらみんなで楽しめるかルールを確認したり、考えながら、話し合う姿が増えてきました。繰り返す経験の中で、友だちと協力することや一緒にいる心地よさ、相手の気持ちに気づくきっかけになってほしいです。～葛藤～



～手のひらの宝物～

子どもたちは小さい秋を探しながら、春には感じられなかった新たな発見をしています。どんぐりや花の種、色づいた花など、手のひらに握りしめながら嬉しそうに見せあう姿が増えてきました。また楽器遊びでは音色の違いを楽しんだり、ごっこあそびではどんな気持ちだったかな？と物語を通して相手の気持ちを考えたり、友達と共感して表現あそびを楽しんでいます。



様々な素材の中からきらっと輝くものを見つけた瞬間の表情など、ひとり一人の思いがたくさん詰まった作品を作っています。思いっきり表現する子、じっくりと丁寧に取り組む子と様々です。友だちが取り組む姿を見て「これいいね」「OO好きだもんね」と声を掛ける姿も見られます。見てくれている安心感と嬉しさ、表現することで伝わる思いや楽しさを友だちと先生と保護者の方と分かち合える『かえでフェスティバル』になることを楽しみに進めています。



子どもたちのメッセージ



春に出会ったトノサマガエルのみどりちゃんのお世話を継続的に楽しんでいます。カエルに詳しい先生から育て方やエサのあげ方を教えてもらい、自分達でもやってみようとする姿が増えてきました。



「さつまいもほり」

園庭で少し顔をだしていたサツマイモを見つけ、「サツマイモとりたい」と収穫を何日も楽しみにしていました。収穫する日、ペアの友達と一緒にサツマイモのつるを持ち、掛け声をかけながら引っ張りました。力を合わせて引くと1つ、2つとサツマイモが連なっていました。「土の中にもまだサツマイモがある」と見つける友達もいて、かえで保育園のお芋畑からどれも形も大きさも違う多くのサツマイモを収穫することができました。収穫したお芋の総重量を計ると、なんとめばえ組の友達と同じぐらいの重さ、8.6kgもありました。

お芋の他にも、お芋のつると茎を分けて、茎は藤森先生特製の炒め物に、お芋のつるは編んでリースになりました。秋の自然の恵みを感じた一日となりました。



王子動物園にバスに乗って遠足に行きました。園内では、異年齢のはま・かぜのグループに分かれて回りました。1つのグループでは、次どの動物を見に行くのか地図を見ながら考えてみんなに伝える「隊長」役を順番に担って回りました。ゾウの所に行く時には、「ゾウに行くぞう」と心を弾ませていました。



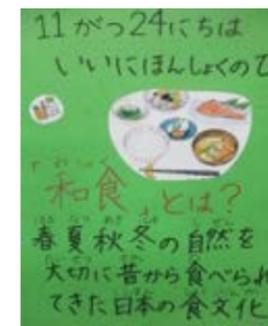
いぶき組、ひかり組で東三公園、交通公園に出かけました。落ち葉を集めてシャワーのようにして遊んだり、虫眼鏡でじっくり葉っぱを観察したりしました。また広い公園内で思いきり身体を動かして遊び心も身体もすっきり！またみんなでお出かけたいです。

お台所から

11月8日

園庭で芋ほりをしました。一生懸命引っ張って、たくさんのさつまいもを収穫できました。小さいものから大きいものまで、様々な大きさのさつまいもに興味津々の子どもたちでした。みんなが取ってくれたさつまいもは、園庭でやきいもにして30日のおやつに登場する予定です。お楽しみに！

寒い冬に、やきいもは人気のおやつのひとつです。やきいもがおやつの日には、いつも待ち遠しそうにしている子が多く、おかわりもすぐなくなるほどです。



11月24日

「いいにほんしょくのひ」ということで、かえで保育園でも和食のメニューがお昼に登場しました。“ごはん・鯖の塩麹焼き・ほうれん草の和え物・切り干し大根の煮物・みそ汁”と一汁三菜を意識した献立にしました。子どもたちからは「和食ってなあに？」と聞いてくる子やポップを見て「今日、いい日本食の日なんだよ～」と自信満々に教えてくれる子もいました。

11月24日

きのこに興味を持っているつぼみさん。この日はきのこごはんに登場する「えのき」「しめじ」「エリンギ」に触れてもらいました。感染症対策を徹底した上で、えのきを裂いてもらったり匂いを嗅いだりと、とても楽しそうにしていました。きのこは独特の匂いや味で苦手と思う子どもも多いですが、食育活動をすることで少しでも苦手意識が減ってくれるといいなと思います。今年から登場したきのこごはんですが、子どもたちにとっても人気で毎回おかわりをたくさんしてくれます。出汁と醤油・みりんで煮るだけと簡単ですので、ぜひご家庭でも作ってみてください。



～12月の献立・予定している食育活動～

本格的な冬が近づき、12月は葉物野菜の多くが旬を迎え、美味しく食べられる季節です。みかんやりんごも先月に引き続きデザートやおやつに登場していきます。寒さや感染症に負けない体と心が温まる食事や、旬の食材をたくさん取り入れたごはんを作っていきます。また冬至の日にはかぼちゃをお昼ごはん食べて、おやつにはゆず湯を飲む予定にしています。お楽しみ会にはフルーツがたくさんあったケーキを作ります。子どもたちが毎日のごはんを楽しみにしてくれる献立や活動を今月も考えていきたいと思ひます。

栄養士 廣田 恵 信田 まなみ



先生たちのメッセージ

先日、タイで高校教師として勤めている友人に会いました。大学を卒業して以来、会う機会がなかったので、お互いのことを語り合う素敵な一日となりました。同じ教育・保育関係に携わっていても、国境を越えれば文化も、子どもたちも、周囲の環境も全く異なります。殆ど日本人が居ない環境の中で、文化や生活の違いで辛くなることはないのかと尋ねると「おもしろいなって思う。」と教えてくれました。タイの人々や生徒の話をとても楽しそうに笑顔で話す姿に、勇気づけられたとともに、多様性について考えさせられました。日本に暮らしていても、自分と違う価値観の人に出会ったり、大人の想像を超える子どもたちの姿に驚かされることがあります。人との違いや、自分の中で当たり前のように感じているものとは異なるものに出会ったときに、私も「おもしろいな。」と受け止められるようにしていきたいなと感じました。また多様性とは特別なものではなく、日本の中でも相手と自分の違いを受け止めたり、様々なものごとを自分のこととして考えることから始まるのだと気づくことができ、有意義な一日となりました。

近藤幸音

先日大学時代の友人に誕生日プレゼントを贈りました。プレゼントの1つに絵本を選びました。私の好きな絵本や友人の好きな絵本など悩みながら本屋へ行き、1冊の本に決めました。本の題名は「あなたがいてくれたから」という本です。かわいらしい絵と共に短い文章で“あなたに会えてよかった”様々な感謝の気持ちが書かれています。大学時代、同じ夢に向かって頑張ったことや支えてくれたこと、悩みを相談し合ったことなどを思い出しました。普段は恥ずかしくて言えない感謝の気持ちを伝える機会となり、友人の喜ぶ顔を見て私自身も心がほっと温まりました。

皆さんも家族や友人など、大切な人に気持ちを伝えてみてはいかがでしょうか。

松岡 桃花



保護者からのエピソード

「今日はこんな歌ったでえ〜♪」と3人で各々クラスで歌っている歌を教え合って毎日一緒に歌を歌っています。その中に母も入れてもらい、4人で歌いながら帰る、帰り道…そんな日々もあと少し。大切に愛おしい毎日をかみしめています。

つぼみ・ひかり・だいち組 ゆかさん

家でも保育園でも2人で遊ぶことが多い双子たちでしたが、2歳を過ぎ、少しずつお友達との関わりが増えてきました。「一緒に遊びたかった」とお友達とケンカして泣いたり、「お茶会で〜す」と園庭で4、5人のお友達とカップに砂を入れて楽しんだり。たくさんの人と関わることを楽しむように心も体も成長してほしいと思います。

ふたば組 あかねさん

夕飯の時に、子どもたちと今日あったことを話すのですが、お友だちと何して遊んだか、どんな歌をうたったか等、いろいろと話してくれるようになり、成長を感じうれしく思っています。

いぶき組 さちこさん

お迎えに行くといつもニコニコ嬉しそうにこちらに来てくれて、帰る時も手を繋いで帰れるようになりました。出来ることが増え、少しずつ言っていることも理解出来るようになってきて嬉しいです。保育園の話をしてくれることが今から楽しみです。

めばえ組 ももこさん

SDGsチームが大好きな息子。保育園からの帰り道に、その日にしたことを楽しそうに話してくれます。これからも、やりたいことや興味があることに、どんどん挑戦してほしいです。

だいち組 みよこさん

「今日はこんなステキなことがあったの！」
「〇〇ちゃんとお絵描きをしてこんな絵を描いたんだよ！」毎年毎年おしゃべりが上手になります。先日の運動発表会では楽しそうな姿を見て成長を感じて涙がポロポロ出ました。成長が早すぎて嬉しくもあり、寂しくもあり…大切に見守っていきたいです。

ひかり組 ゆうこさん

姉が少しピアノを弾けるようになり、それに合わせて妹が歌うことが増えてきました。姉が先生役、妹が子ども役になり2人で仲良く保育園ごっこをしています。母が見ると2人ともやめてしまうので毎回“見ていません”の振りをしながらこっそり見るのが楽しいです。

ふたば・ひかり組 あゆみさん

あそびへの思い



めばえ

寒さが日に日に増してきて、本格的な冬がやってきました。お庭のひなたはぼかぼか、お散歩や園庭遊びものんびりと楽しんでいます。最近めばえぐみ全員で出かけられるようになりました。公園に着いてバギーから降りると、落ち葉で葉っぱのシャワーをしたり、滑り台を滑ったり、一人一人の足取りもしっかりしてきて成長を感じます。今年もあとひと月で終わりですね。風邪をひかないように注意しながら元気いっぱい過ごしたいと思います。おうちの方にはたくさんのご協力をいただき、ありがとうございました。来年もよろしくお祈りします。

宝田聖美 小坂橋円香 峰夏音

ふたば

11月は自分の足で歩く楽しさを感じ園外の自然にもたくさん触れてほしいと思い、交通公園まで毎週お散歩に出かけました。お散歩に出かけると必ず落ち葉や木の実などを拾って見せてくれるので、お散歩バッグを一人ひとつ手に持ち、集めて遊ぶことも楽しみました。拾う落ち葉を厳選する子どもや、とにかくたくさん袋の中に詰めたい子ども、どんぐりだけを集める子ども…。同じ遊びでもそれぞれに思いを持ち一人ひとり違った楽しみ方を見せてくれました。また、葉っぱがひらひらと落ちてくる様子に興味を持ったり、落ち葉をかき集めて両手いっぱい抱えてみたりと目で見て肌で感じて秋の自然の中で沢山遊ぶことがきました。12月も寒さが厳しくなりますが、冬へと変化する自然を感じる事が出来るよう計画していきたいと思います。

保育参加に、お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。子どもたちも嬉しそうなお顔をしていました。私たちも園での様子を見て頂き、また家庭での様子を伺うことができ良い機会となりました。11月からは登降園時に入室していただくこともできましたので、今までよりも園での子どもたちの姿を身近に感じてもらえるのではと思っています。今後も引き続き保護者の方と一緒に子どもたちの成長を伝え合い見守ってまいります。

福井真裕子 尾崎美緒 西田汐里菜

つぼみ

11月の運動はっぴょう会では、初めて沢山の人の前に立つ経験をしました。普段とは違う環境で、緊張して固まっていた子ども達でしたが、サーキットでは伸び伸びと身体を動かす様子や、様々な子ども達の表情を楽しんでいただけたのではないのでしょうか。運動はっぴょう会が終わった後も、「今日はしないの?」「よーいどんしたい!」などと保育者に伝えてくる姿もみられ、子ども達自身がとても楽しんでくれたのだな、と嬉しくなりました。冬も本番になってきて、だんだんと寒くなっていく中でも、身体を動かす楽しさを子ども達と一緒に体験していきたいです。

立田瑛怜菜 小寺涼香 近藤幸音

いぶき

寒い季節になりましたが、子どもたちは毎日元気に園庭でかけまわっています。先月は初めてのバス遠足で王子動物園に出かけました。友達と乗るバスは特別で、「みて!〇〇がみえるよ~」「どうぶつえんはやくつかないかな」と着くまでの間隣の席の友達と会話を楽しんでいました。動物園では美味しいおにぎりを食べ、だいちのお兄さんお姉さんに手を繋いでもらい色々な種類の動物を見て大満足の子もたちでした。

日々の生活では絵本の内容に沿った「どろきょうりゅうのうた」を聞いて、ふとした時に口ずさんでいるのがとても可愛らしいです。ご家庭でもぜひ「どんなうたなの?」と聞いてみてください。もしかすると可愛い歌声でどろきょうりゅうの世界を聞かせてくれるかもしれません。

小城美紗

ひかり

11月の運動発表会では、普段の体操遊びだけでなく友だちと協力して様々な競技に挑戦しました。鉄棒やボール、縄跳び等、遊びの中でも身体を動かして友だちと一緒に遊ぶことを楽しんでいます。また、運動発表会でたくさんの方の前で見てもらって嬉しさと緊張は子どもの言葉からたくさん伝わりました。だいち組の表現遊びを見て「すごかった」「だいちさんになったらやってみたいな」と話をする姿も見られました。憧れのだいち組の姿を追い掛けてこれからも様々なことに挑戦してほしいです。

日笠加菜

だいち

運動発表会では、「世界」をテーマに表現あそびをしました。日本・アフリカ・イギリス・中国を表現するために、子どもたちと世界の本を見て調べたり、家で調べてきたりなど子ども達とイメージを共有しながら一つひとつ考えました。富士山や竜舞など誰がどの立ち位置になるのかも子ども同士で納得いくまで話す様子に成長を感じます。リレーの走る順番や園外先でも自分の思いや考えを人前に立って話をするなど、小さなことでも話し合う機会を少しずつ増やしています。自分の思いを伝えることを大切にしながらも、相手の気持ちに気付くこと、相手の立場に立って考える姿にも繋がって欲しいと考えています。運動発表会を終え、より友だちとの絆が深まったように感じます。保育園生活も残り4ヶ月、友達と向き合う時間を大切にしたいです。

松岡桃花

はまかせ

秋晴れの日に、バスに乗り王子動物園に出かけました。動物園に着いてからの楽しみは、ペンギンやキリンなど動物をみることに、そしておうちの人の手作りの「おにぎり」を食べる事でした。異年齢のペアの友達と、一緒に食事の支度を始め「〇〇ちゃん、シートのここ座っていいよ」とひかり組、だいち組が用意してくれたレジャーシートにいぶき組の友達を優しく誘っていました。遠足でわくわくする気持ちでいっぱいの中でも相手の事を気に掛ける優しい姿が、どのペアの友達も見られました。今月はペアの友達と一緒に出かけたり、サツマイモを掘ったり様々な経験をしました。異年齢で一緒に過ごす事で「人を思いやる気持ち」、「安心できる相手がいること」の温かい気持ちが深まっています。共に遊び、過ごしている友達との時間をこれからも大切にしていきたいです。

坂本春佳 星加由美子

